



施策コード	5-1
-------	-----

中心所管課	交通防犯課
関連所管課	

第5章	人と人がつながり快適な暮らしを支えるまちづくり -都市基盤整備-							
基本施策名	1 公共交通							
総合計画の目標指標								
指標名	単位	策定時	実績値			目標値		SDGs独自指標
		R2	R3	R4	R7	R12		
バス路線利用者数	人	168,000	105,887		175,000	176,000		
鉄道駅から1km、バス停から300m内の居住者割合	%	89.7	89.7		92.0	93.0		
日常の移動に不便を感じている人の割合	%	31.0	-		30.0	29.0		

施策の内容(主な取組)		
単位施策名	実績・成果	今後の方向
1 鉄道を中心とした交通ネットワーク網の維持確保と交通空白地解消	運行支援を継続実施。大塚地区ひめはるくるりんバスの運行開始。	鉄道・路線バスの運行支援を継続し公共交通の維持・確保を図るとともに、コミュニティバス等により空白地の解消を進める
2 関係者間の連携強化による事業推進	公共交通会議、地区協議会、コミュニティバス連携協議会の実施。名鉄との利用促進に係る連携合意書の締結。	名鉄との合意書に基づく新規事業の実施。地区協議会の継続実施。路線バス支援の見直しを含めた協議体制の充実。
3 持続性のある公共交通の確保	公共交通会議での事業評価の実施。地区協議会における住民主導の協議の実施。、乗り方教室・乗車体験実施	公共交通計画策定。計画に基づき、公共交通会議での事業評価の継続実施。乗り方教室等を通じ、継続して市民への周知を図っていく。

個別計画の目標指標								
計画名	蒲郡市地域公共交通計画				計画期間	令和3年度～令和7年度		
指標名	単位	策定時	実績値			目標値		
		R2	R3	R4	R5	R6	R7	R12
名鉄西尾・蒲郡線(吉良吉田・蒲郡間)利用者数	人	1,210,000	1,253,000				1,550,000	-
民間路線バス総利用者数	人	107,000	106,000				160,000	-
支線バス総利用者数	人	6,423	11,353				増加	-
支線バス収支率	%	形原:11.0 東部:7.7 西部:5.9	形原:12.1 東部:5.6 西部:6.3 三谷:6.7 大塚:6.7				10%以上	-
高齢者タクシー運賃助成事業利用者数	人	2,867	2,926				3,500	-

主要事業の実績評価					
施策番号	事業名	事業費(千円)		実績(R3年度)	今後の方向
		R3(決算額)	R4(予算額)		
		人工			
1	支線バス運行事業	21,657	37,833	大塚地区運行開始 形原・東部・西部・三谷地区継続 運行	事業継続、運行改善し、交通空白地解消を進める。
		1.0人工			
1	高齢者タクシー運賃助成事業	15,135	17,816	継続実施。R2比で利用者数等増加。	継続実施する。
		0.3人工			
1	情報発信	341	450	公共交通マップ更新、GTFS対応	継続実施し、公共交通利用を促進する。
		0.2人工			
2	名鉄利用促進事業	3,183	6,960	名鉄、西尾市とのトップ会談、連携事業の実施。 応援団活動、活性協事業の継続実施。	名鉄、西尾市等と新たな取組みを展開していく。
		1.0人工			
3	公共交通会議	3,406	3,630	3回実施。国への補助申請、支線バスの事業継続などを協議。	適切に実施し、関係者間の連携、事業評価等を継続して行っていく。
		1.0人工			

総括評価	成果・課題	地域要望に基づき、支線バスの運行を開始し、市内公共交通網を拡充してきた。しかし、市内において未だに交通空白地が10%程度存在するため、早期解消が求められる。また、市民意識調査においても公共交通に対する満足度は低く、利便性の向上が必要である。
	今後の方向	鉄道・路線バスの支援、支線バスの運行を継続し、市内公共交通網の維持・確保するとともに、交通空白地の解消を進める。あわせて、公共交通体系の見直し・改善を続け、持続性の高い公共交通サービスの拡充を進める。